



令和6年度 有田市立有和中学校 スクールプラン

有田市学校教育方針
 認め合い、学び合い、郷土を愛する子ども
 の育成を図る～小中連携を通して～

- 一人一人を生かし、学び続ける力を育てる
- 人とのふれあいを通して、豊かな心を育てる
- たくましく健やかな体を育てる
- 自然や文化とのふれ合いを深め、郷土に対する誇りや愛情を育む

保護者・地域の願い

- 主体的に学力・体力の向上に努力する子
- 自他の命を大切にできる子
- 思いやりのある子
- 社会のルールを守る子
- 郷土や学校に誇りをもつ子
- 地域に貢献し、地域を支える子

【 学 校 教 育 目 標 】

持続可能な未来の創り手となる生徒の育成

【目指す生徒像】

- 問題や課題を自ら見つけ、解決のための方法と見通しをもって、自ら解決することができる生徒
- 多様性を大切にし、一人一人の違いを互いに認め合い、尊重し合える生徒
- 粘り強く最後までやり抜く、心身ともに健康でたくましい生徒

前年度の学校評価

生徒の実態

- 明朗快活で純朴である
- 行事等では団結力を発揮し、よく努力する
- 指示されたことは素直に取り組むが、やや受動的である
- コミュニケーション能力が低い
- 主体的に学ぶ意欲が弱い

重点 目 標	<確かな学力の向上>	<豊かな心の育成>	<高め合う集団づくり>	<地域とともにある学校>
	<ul style="list-style-type: none"> ◎主体的に学ぶ生徒の育成 ◎タブレット型端末の活用を充実させ「個別最適な学び」と「協働的な学び」の一体的な授業展開の推進 ◎読書活動及び家庭学習の充実 	<ul style="list-style-type: none"> ◎豊かな心を持ち、仲間を大切にできる生徒の育成 ◎自他の生命を尊重できる生徒の育成 ◎自己肯定感、自己有用感の向上 ◎道徳授業の工夫改善 	<ul style="list-style-type: none"> ◎いじめ未然防止（いじめ防止基本方針） ◎自己決定の場や自己存在感を与え、共感的な人間関係の育成 ◎スマホ・ネットの安心安全な利用の推進 ◎部活動の充実 	<ul style="list-style-type: none"> ◎地域社会貢献の推進により、地域に貢献し地域を支える生徒の育成 ◎ふるさと学習の推進により郷土に対する誇りや愛情をもつ生徒の育成 ◎家庭・地域との関わりの推進
具 体 的 な 取 組	<ul style="list-style-type: none"> ○体験的な学習や課題解決的な学習を重視し、単元計画の充実を図り、毎授業、まとめ・振り返りを次時の学習につなげる ○知識・技能の習得をもとに、考えを伝え合い、学びを深め合う授業展開となるよう単元を構想する ○朝読書、図書館活用を充実させる ○家庭での自主学習を充実させる 	<ul style="list-style-type: none"> ○規範意識や思いやりなど道徳の時間で自覚した道徳的価値について、実際の生活場面で生かせるようにする ○学校行事等体験活動を通じて豊かな心を養い、仲間を大切にすることを育てる ○生徒会活動を活発にし、よりよい学校生活づくりに参画させ、責任感と自治能力を育成する 	<ul style="list-style-type: none"> ○生徒がよりよい生き方を求められるよう積極的な声かけや自分ログの活用を図る ○学校行事等の体験活動を通じて共感的な人間関係を育てる ○Hyper-QUを活用し、学級の細やかな実態把握に努める ○ネットの利用に関する指導を充実させる ○生徒が主体的に部活動に取り組むよう工夫する 	<ul style="list-style-type: none"> ○地域の行事への積極的な参加を図る ○校内・校外でのボランティア活動への積極的な参加を図る ○学校だよりや学校ホームページにより地域へ積極的に情報発信する ○家庭、地域と学校教育目標を共有する機会を充実させる ○学校開放期間を通じて、積極的に学校を公開する
指 標	<ul style="list-style-type: none"> ・主体的に学習活動に取り組んでいる（7割） ・考えを伝え合い、学びを深め合っている（7割） ・読書年間貸出冊数（8,000冊） ・自主学習帳を毎日提出する（9割） ・全国学力・学習状況調査や県到達度調査等の結果は市の平均正答率と同程度である 	<ul style="list-style-type: none"> ・自己肯定感の状況「自分にはよいところがある」と感じている（8割） ・生命尊重や他者への思いやりの状況を生徒アンケートから見取る ・「人の気持ちがわかる人間になりたいと思う」と考えている（9割） ・道徳の時間と体験活動を関連づけ、道徳的実践力が高まったか、生徒の変容を的確に見取る 	<ul style="list-style-type: none"> ・学校や社会のルールを守っている（9割） ・「いじめを許さない」と思う（9割） ・「学校が楽しい」と感じている（9割） ・「クラスに貢献している」と感じている（8割） ・困ったときに相談できる先生がいる（8割） ・目標を持ち主体的に集団活動に取り組んでいる（8割） 	<ul style="list-style-type: none"> ・地域行事への参加（2回／人） ・ボランティア活動への参加（2回／人） ・有田市の歴史、文化、旧跡・史跡について学ぶ機会をもつ（1回／年） ・学校だよりを定期的に発行（1回／週） ・ホームページの積極的活用（1回／週）